

2020年 vol.236 10月号

月刊 **ぼらんていあ情報**

VOLUNTEER による福祉のまちづくり

編集・発行 米子市ボランティア協議会 / 米子市ボランティアセンター レイアウト 米子ワークホーム

ボランティア大募集!!

☆鳥取県立総合療育センター☆

裁縫をされる方であれば、どなたでも歓迎いたします。よろしく願いいたします。

■日時 曜日・時間は要相談
(月に1〜2回、午後の2〜3時間程度)

■場所 当センター内

■内容 入所児童が衣服を脱ぎ着しやすいように改良、ほつれの縫製、物品の修理を行っていただきます。(主に裁縫作業)

■問い合わせ 鳥取県立総合療育センター

(米子市上福原7-13-3)
TEL 38-2155

(担当:太田)



☆独立行政法人労働者健康安全機構 山陰労災病院☆

当院では、患者さんがよりよい環境の下で安心して治療を受けることができるように病院ボランティアを募集しております。沢山の方々のご応募お待ちしております。

■日時 応相談

■場所 病院または周辺

■内容
・初診窓口案内、再来受付機での受付案内(端末操作の補助)
・外来患者さんのエスコート(車椅子が必要な患者さんの介助)
・入院患者さんの病棟までのご案内
・各診療科へのご案内

■問い合わせ 山陰労災病院 総務課

(米子市皆生新田1-8-1)
TEL 33-8181 (担当:竹内)



毎週木曜日の午前中に、図書館でお話会があります。

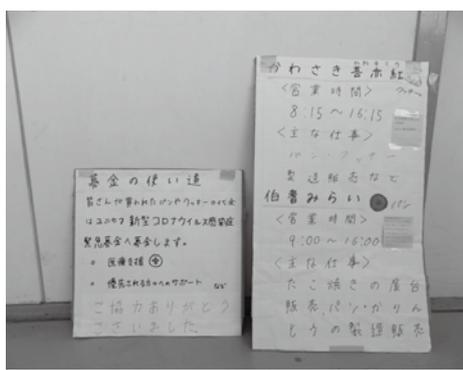
8月27日の第4木曜日は「火曜の会」の担当でした。とても暑い日でしたが、予約されていた方が2階の研修室に来てくれました。

シニア劇団?の紙芝居はいつも楽しいです。そのほか、絵本、エプロンシアターを見てもらいました。

火曜の会 友松由加利



高校生ボランティアリレー



私たち米子高校 JRC 部では、本年度の青雲祭(文化祭)で、伯耆みらいさんに作っていただいたパンと、かわさき吾亦紅さんに作っていただいたクッキーを販売しました。

そして、それらの売上金は、ユニセフの新型コロナウイルス感染症緊急募金へ募金し、新型コロナウイルスが原因で命の危機にある世界の方々を助けるのに使っていただきます。

例年と違い、新型コロナウイルスの影響で部の活動にも様々な制限があり、思うように活動することが難しい状況になってしまいましたが、このような活動を通して、少しでも困っている人の力になればと思っています。

鳥取県立米子高等学校 JRC 部(青少年赤十字) 大庭 希望



米子市ボランティア協議会では、会員が米子市の様々な委員会に携わらせていただいております。今月は、その中から3つの委員会をご紹介します。ただきます。

■米子市共同募金委員会

審査委員会（6月22日）

共同募金からの助成を申請している団体を審査する審査委員会があり、委員会で審議しました。特に問題がなかったため、助成を行うことが決まりました。今回、申請されたのは1団体であり、さらなる周知や、より申請しやすいよう配慮する必要があるのは、などの意見もありました。

運営委員会

令和元年度の報告と令和2年度の計画について意見を交わす運営委員会は、8月18日に行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面で行われることになりました。そのため、送付頂いた書類を郵送で提出しました。

With コロナや、自治会の加入者が減少しているなど、社会の在り方が変わってきている中で、共同募金の在り方もそれに即した対応を考える必要があるのではないかと思います。

中村 富士子

■米子市地域福祉計画・地域福祉活動 計画推進委員会（8月7日）

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画（地域）つながる「福祉プラン」は、米子市において、地域のつながりを大切にした福祉のまちづくりを推進していくための計画です。第1回の今回は、昨年度、出来上がった計画を実施するにあたって、個別検討会の提案、今後のスケジュール、計画の進捗管理、評価方法などについての説明が、米子市役所・米子市社会福祉協議会よりあり

ました。今後、より具体的な実施計画も必要です。全体の計画にのっとって、速やかに、かつ適切に実施に移され、米子市の福祉が向上するよう、委員として見守っていききたいと思います。

中村 富士子

■米子市まちづくり活動支援交付金審査委員会

米子市は、市民により構成された住民団体が自主的かつ継続的に行う住みよいまちづくりのための活動を支援するため、予算の範囲内で交付金を交付する事になっています。対象となる団体は、①市内に事務所を有し、かつ、市内を拠点に活動するものであること。②5人以上の構成員で構成され、その過半数が市内に在住し、在勤し、又は在学していること。③定款、規約又は会則を有すること。④交付金の申請を行う次点において、1年以上の活動実績を有する事。但し、対象団体となることができない団体もあります。また交付金額に応じて3つのコースがあります。今年度の申請は終了しましたが、関心ある方は、米子市地域振興課までご相談ください。

小磯 保弘



7月16日～9月15日

7月

◆28日…情報誌印刷（友松）、誌面打合せ（友松）

8月

◆7日…第1回米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会（中村）

◆22日…誌面打合せ（友松）

ボランティアデータ

7月1日～8月31日

新規個人登録	0人
新規団体登録	1団体
依頼（要請・お願い）	9件
相談（助言・情報提供）	15件
コーディネート	9件
（うち活動団体 / 4団体、個人 / 5人）	
※センターを通して行われたデータです。	
登録	4,892人
登録グループ	123団体

令和2年8月31日現在



令和2年度 ボランティア コーディネーター フォローアップ研修

ボランティアについて理解を深め、ボランティアとどう協働するのか、活動を活性化させていくための実際に必要な実践的な技術やスキルを学びます。また、コーディネーター同士での互いにサポートしあいながらの活動を目指し、仲間づくりやコーディネーターの地域連携のきっかけとします。ぜひ、ご参加ください。

■日時 10月29日(木) 10時～15時
(12時～13時 昼休憩)

■会場 新日本海新聞社中部本社ホール
(倉吉市上井町1-156)

■内容 コーディネーターの実践的な技術やスキルを学ぶ(講義・演習)

■講師 日野ボランティア・ネットワーク 森本 智喜氏

2000年鳥取県西部地震の際、

災害ボランティアセンターの立ち上げと運営に関わる。

以後、東日本大震災など様々な災害現場で被災者支援活動及び災害ボランティアセンター運営支援活動に従事している。

平素は、県内各地において中山間地の見守り活動のほか、住民主体の安心・安全の地域づくりのサポート等を行っている。

■定員 50名

■参加費 1,000円

■申込期限 10月19日(月)

■問い合わせ・申込先 鳥取県社会福祉協議会(担当:秋本、上田)

〒689-0201

鳥取市伏野1729-5

TEL 0857-59-6336

FAX 0857-59-6341

Eメール

akimotoh@totori-wel.or.jp

※新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、延期または中止、会場変更になる場合があります。



「こころの健康講座」 を開催いたしました。

精神障がいに対する理解を深め、誤解や偏見のない社会に向けて、障がいのある方の理解者・支援者を養成するための講座を7月から9月にかけて5回開催いたしました。

受講後、「こころの広場」や地域で、障がいのある方の身近な存在として今後活躍していただけたらと思います。皆さん熱心に受講していただき、ありがとうございました。

受講していただいた方の感想をご紹介します。

・発達障害の背景や統合失調症との違い、それぞれの特性や状態、必要な声かけなど必要な対応について、また、ひきこもりとニートについても改めて考えることができ、本人の想いに寄り添い、本人のペースを大切にして理解、支援していくことの必要、大切さを感じることができました。

・統合失調症について、詳しく説明していただき勉強になりました。もっともっと聞きたかったです。

・家族会の方の話は、きっかけから、会の発足まで、行動力のすごさに尊敬の念をいただきました。自分の身近にはなかなか無い存在(人も会も)なので、知ることができ、また活動しておられることがわかり良かったです。

まち 私たちの地域のアスリート

～東京2020オリンピック・パラリンピック開催延期について～

2020年3月24日(火曜日)、東京2020組織委員会と国際オリンピック委員会(IOC)は東京2020大会の開催延期を発表しました。

東京2020オリンピック聖火リレーの聖火到着式が2020年3月20日(金・祝)、宮城県にある航空自衛隊松島基地で行われました。聖火は、聖火特別輸送機「TOKYO 2020号」でギリシャアテネから日本に運ばれ、日本へつながれた東京2020オリンピック聖火は、世界の平和と平穏を祈りながら、東京での開催を希望の光として灯し続けます。



助成金情報

ヤマト福祉財団助成金募集 一障がい者福祉助成金一

ヤマト福祉財団は、障がいのある方が「自立して生活することで幸せを感じる」を大切に考えて活動しています。障がいのある方の幸せにつながる事業・活動に対して助成します。福祉事業所に限らずボランティア団体、サークル等、幅広い活動を支援します。下記の対象となる事業、活動の一つを選択して応募してください。

- 募集内容：①助成総額 1,000万円
②助成対象事業、活動
 1. 会議・講演会
 2. ボランティア活動
 3. スポーツ活動・文化活動
 4. 調査・研究・出版
- 応募要件：①2022年2月末日までに完了する事業、活動に限ります
②波及効果の望める事業、活動を優先します
- 応募方法：①「障がい者福祉助成金申請書」
②企画書・スケジュール・費用積算表
(書式自由、A4用紙に限ります)
- 応募期間 10月1日(木)～11月30日(月)(当日消印有効)
- 提出・問合わせ

〒104-0061東京都中央区銀座2-12-18ヤマト銀座ビル7階
公益財団法人ヤマト福祉財団 助成金事務局宛て
TEL03-3248-0691 FAX03-3542-5165

まちがい探し

まちがいが3つあるよ。
探してみてね。



- 「ぼらんていあ情報」の置いてあるところ
公民館・市役所・市立図書館・市児童文化センター・
市文化ホール・鳥取銀行市内各店・米子信用金庫市内各店・
日交バスセンター・ふれあいの里等
- ◆この情報誌に関するお問い合わせ先
〒683-0811
米子市錦町1丁目139-3「ふれあいの里」内
TEL 23-54455 FAX 37-38855
E-mail/vcyonago@chukai.ne.jp

ボランティアに関する情報をお気軽にお寄せ下さい。

●●●団体紹介●●●

★フードバンクとっとり★

食べ残し、売れ残りや期限が近いなど様々な理由で、食べられるのに捨てられてしまう食品ロスが年間約6000万トンを超え、毎日大型トラック(10トン車)約1700台分の食品を廃棄しています。この様な食品ロスを削減し、生活困窮者等、必要な方々に届けようと2010年から活動を継続しています。企業、生産者他、家庭からも多くの食品廃棄物が出ています。一人ひとりが意識を高めて、「わかちあい」や「支え合い」の心や、「もったいな」から「ありがとう」を次世代に広がるよう願っています。

代表 伊藤 ひろえ

編集後記

この夏、我が家は、久しぶりに植えたトマトとなすびの恩恵に随分とあずかった。5月の緊急事態宣言を受け、娘が一念発起。「食糧難が訪れては困る」と小さな庭を耕し、苗を植え付けた。

秋を迎え、ひと夏の大事な仕事を終えた苗は既に刈り取られ、あたり一面平地と化した。来年の夏は、コロナ禍に惑わされることなく、ただただ美味しく熟したトマトとなすびを頬張る、そんな幸せに浸りたいと思う。
(あみたんのママ)

10月・11月休館日

- 【10月】
7日、14日、21日、28日
- 【11月】
4日、11日、18日、25日
- ※水曜日が祝日の場合は開館し、翌日が休館日となります。
- 開所時間 8:30～17:15